

未来医療研究人材養成拠点形成事業  
 選定事業の概要と推進委員会からの主なコメント  
 [テーマB：リサーチ・マインドを持った総合診療医の養成]

		整理番号	B - 10
申請担当大学名 (連携大学名)	岡山大学		
事業名	地域を支え地域を科学する総合診療医の育成		
事業責任者	大学院医歯薬学総合研究科地域医療人材育成講座教授 片岡 仁美		
<b>事業の概要</b>			
<p>本プロジェクトでは岡山大学と地域医療機関・自治体が連携してリサーチマインドと優れた臨床能力を有した総合診療医を育成する。臨床面では高齢化が進み医師不足も深刻な県北の二次医療圏を必修の研修エリアに組み込み、診療所と地域の病院が協働した多彩な研修プログラムを構築する。中山間部研修と都市部研修の組み合わせによって、地域包括ケア、家庭医療、在宅緩和ケアと総合診療、救急等をバランスよく学ぶ。岡山大学は教育リソースの提供を介して全面的なバックアップを行う。研究面ではアカデミック GP 養成コース（博士課程）と MPH コース（修士課程）を設置して生物統計や疫学などの基礎から指導し、臨床現場から臨床研究や質的研究を介してエビデンスを発信する研究者の育成を促進する。教育の充実と連携によって地域の課題をより良い総合診療医を育てる最適環境に転換する本プロジェクトはどのような地域にも応用可能かつ波及効果が期待できる。</p>			
<b>推進委員会からの主なコメント</b>			
		：優れた点等、	：改善を要する点等
<p>県北部での医療支援と総合診療医の養成・教育が連動しており、実効性が期待できる。              県全体の医療情勢を踏まえて、各地域に既に存在する教育プログラムを活用しながら、新たなネットワークの形成を行い、総合診療医養成を展開するため、非常に実現性が高い。              既に地域医療に関する連携体制が構築されており、地域での大学のネットワークを生かした内容である。              臨床研究についても大学等にある研究基盤を活用しており、教育内容の実現性が高い。              種々の教育方法を用いる内容だが、相互の連携が必要と思われる。              e-ラーニングの効果が確実なものとする必要がある。              女性医師のキャリア支援について具体的なサポート体制の構築が必要。</p>			